



小名浜港大剣ふ頭 ガントリークレーン供用式



小名浜港大剣ふ頭（泉町下川）



3 / 25 (月)

＼ 小名浜港の物流がさらに強化 ／ #小名浜港 #ガントリークレーン #福島県小名浜港利用促進協議会

小名浜港大剣ふ頭のコンテナターミナルの機能強化に向け、コンテナ貨物の荷役用大型クレーン「ガントリークレーン」が増設され、2基体制となりました。さらに、従来の韓国・釜山港をメインとする外貿定期コンテナ航路に加え、本年2月には、京浜港（東京港・横浜港）をハブとする国際フィーダー航路が4年ぶりに再開となり、地域企業の競争力向上と地域経済の活性化が期待されます。



中央台南中学校 映像最優秀作品受賞！



パナソニックセンター東京（東京都）



3 / 17 (日)



◀KWN作品動画



◀選挙啓発動画

＼ 東京で表彰式が行われました！ ／ #映像作品 #キッド・ウィットネス・ニュース (KWN)日本コンテスト2023 #中央台南中学校

全国の小・中・高校生が制作した映像作品を競うパナソニックの「キッド・ウィットネス・ニュース (KWN) 日本コンテスト2023」にて、中央台南中学校が制作した作品が中学生部門の最優秀作品賞に輝きました。作品は、東日本大震災をテーマにした「Coming Back Home ～帰郷～」。

約5分間の映像で「学ぶ」「考える」「行動する」の3部構成で制作。ぜひ、皆さんもご覧ください。また、同校では選挙啓発動画の制作も手掛けており、そちらの動画（5月1日公開）もご覧ください。

📷 市内小学校に大谷翔平選手グローブが届きました



高久小学校（平下高久）



4 / 11 (木)

＼ 野球しようぜ！ ／

#高久小学校 #大谷翔平選手グローブ #キャッチボール #笑顔

米メジャーリーグ、ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手からの贈り物「サイン入りグローブ3個」が「野球しようぜ」のメッセージとともに市内の各小学校に届きました。

取材に協力いただいた高久小学校では、学年を問わずたくさんの児童たちが大谷選手から贈られたグローブを身に付け、輝かしい笑顔でキャッチボールを楽しんでいました。

写真が語る「いわき」の歴史

戦時下の制服スタイル

明治時代に登場した中等学校（現在の高校に当たる）における制服の成り立ちは、男子では詰襟の洋装、女子の場合は男子のようにストリートに洋装に向かわず、着物の不自由さを解消するための袴姿を経て、大正時代半ば、水兵服をモデルとしたセーラー服に人気が集まり、制服として定められました。いわき地方の磐城高等女学校においても同様でした。

戦時色が濃くなる昭和16（1941）年11月、磐城高等女学校ではヘチマ衿に襷なしスカートの標準服が導入される一方、モンペの着用も許されましたが、急速に緋の上着にモンペ姿が一般的になっていきました。

3人で記念写真を撮ったのは昭和18（1943）年3月でした。すでに戦争一色となり、モンペ姿が制服化していました。3人は卒業生の先輩から制服を借りて撮影したのです。女学校に入学した女子にとってセーラー服とスカート

には憧れがあったようです。写真は個人を撮ったものですが、見方を変えると時代や社会を映す鏡なのです。

（いわき地域学會 小宅幸一）



■写真2 緋の上着とモンペ姿の小名浜高等女学校生徒・小名浜海岸
〔昭和19（1944）年頃 『写真でつづる実伝・いわきの漁民』から引用〕



■写真1 セーラー服とスカートにこだわった、戦時下の磐城高等女学校生
〔昭和18（1943）年3月 猪狩光正氏提供〕

